



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月4日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL http://www.m-ikkou.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務取締役 (氏名)櫻井 利治 (TEL)059(226)1193
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日~平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	22,128	2.7	820	△20.9	778	△26.1	629	△9.7
28年2月期第3四半期	21,550	10.3	1,038	7.5	1,053	10.1	697	8.6

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 454百万円(△45.3%) 28年2月期第3四半期 831百万円(21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	328.57	—
28年2月期第3四半期	364.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	25,100	7,566	30.1
28年2月期	24,796	7,249	29.2

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 7,566百万円 28年2月期 7,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	32.50	—	36.00	68.50
29年2月期	—	36.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日~平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,200	3.1	1,350	△5.4	1,300	△10.8	930	2.1	485.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年2月期3Q	2,035,000株	28年2月期	2,035,000株
29年2月期3Q	118,917株	28年2月期	118,917株
29年2月期3Q	1,916,083株	28年2月期3Q	1,916,083株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外経済、金利・為替相場の動向による影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

調剤薬局事業におきましては、平成28年4月に調剤報酬改定および薬価改定が実施されました。今回の改定は、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた施策が反映され、薬局・薬剤師に求められる役割が大きく変化してきております。また、ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い、人材の確保・サービスの向上が課題となっております。

このような状況のなか、当社グループは超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、安全性を最優先としつつ事業規模の拡大および収益力の強化に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高22,128百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益820百万円(同20.9%減)、経常利益778百万円(同26.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益629百万円(同9.7%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、前期開局した新店および前期、今期M&Aでグループ会社化した子会社が寄与したものの、平成28年4月の調剤報酬改定および薬価改定による影響等があり、売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。この結果、売上高16,694百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益1,123百万円(同15.0%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、平成28年9月にグループホームや通所介護事業などを運営するウェルフェア株式会社をグループ会社化しました。一方、11月には訪問介護事業、居宅介護支援事業を運営する株式会社さつきの全株式を売却しました。当社グループのヘルスケア事業について経営資源の選択と集中を検討し、事業規模の拡大および収益力の強化を図ったものです。これらの施策に加え、既存有料老人ホームの継続的な入居者確保および前期に新規開設した施設が寄与し、売上高は堅調に推移しましたが、営業利益におきましては、M&Aに係る経費・手数料64百万円の負担等により微増となりました。この結果、売上高3,699百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益142百万円(同0.4%増)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大するなか、三重県、岐阜県、滋賀県および愛知県を中心に積極的な営業活動を行った結果、また、4月にグループ会社化した子会社が寄与し、売上高は伸長しました。利益面におきましては、価格競争が厳しさを増す市場環境の影響を受けました。この結果、売上高1,641百万円(前年同期比53.4%増)、営業利益52百万円(同7.9%減)となりました。(内部売上を含む売上高は2,137百万円となり、前年同期比で43.8%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高92百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益45百万円(同6.7%増)となりました。

投資事業におきましては、有価証券売却損益337百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として523百万円を消去するとともに、全社における共通経費として543百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25,100百万円となり、前連結会計年度末と比較して303百万円増加いたしました。

流動資産の合計は10,825百万円となり、前連結会計年度末と比較して427百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少447百万円によるものです。

固定資産の合計は14,274百万円となり、前連結会計年度末と比較して730百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物の増加461百万円、土地の増加285百万円、のれんの増加275百万円、敷金及び保証金の増加178百万円、投資有価証券の減少564百万円によるものです。

負債合計は17,533百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他(未払費用)の増加444百万円、買掛金の減少465百万円によるものです。

純資産合計は7,566百万円となり、前連結会計年度末と比較して316百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益629百万円、その他投資有価証券評価差額金の減少175百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想につきましては、平成28年4月7日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資
本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしま
した。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取
得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っており
ます。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財
務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から
将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ69,340千円
減少しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告
第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減
価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,808,580	5,360,813
売掛金	3,740,579	3,747,999
商品	1,043,428	1,121,745
その他	661,622	602,989
貸倒引当金	△800	△7,589
流動資産合計	11,253,411	10,825,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,301,868	6,763,027
土地	2,819,411	3,104,773
その他(純額)	405,453	472,970
有形固定資産合計	9,526,733	10,340,771
無形固定資産		
のれん	887,712	1,162,810
その他	280,552	257,343
無形固定資産合計	1,168,264	1,420,154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,651,017	1,086,908
敷金及び保証金	591,964	770,810
その他	605,141	655,431
投資その他の資産合計	2,848,123	2,513,150
固定資産合計	13,543,122	14,274,076
資産合計	24,796,533	25,100,034
負債の部		
流動負債		
支払手形	12,011	30,513
買掛金	3,989,769	3,524,328
1年内返済予定の長期借入金	3,331,363	3,468,220
未払法人税等	434,249	236,179
賞与引当金	187,828	13,226
その他	850,351	1,333,534
流動負債合計	8,805,573	8,606,002
固定負債		
長期借入金	7,863,032	7,732,775
退職給付に係る負債	425,040	457,219
その他	453,235	737,890
固定負債合計	8,741,308	8,927,885
負債合計	17,546,882	17,533,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	5,461,534	5,953,149
自己株式	△199,317	△199,317
株主資本合計	7,016,267	7,507,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234,313	58,495
退職給付に係る調整累計額	△929	△232
その他の包括利益累計額合計	233,384	58,263
純資産合計	7,249,651	7,566,145
負債純資産合計	24,796,533	25,100,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	21,550,820	22,128,059
売上原価	19,180,914	19,747,038
売上総利益	2,369,906	2,381,020
販売費及び一般管理費	1,331,574	1,560,045
営業利益	1,038,332	820,975
営業外収益		
受取利息	793	519
受取配当金	18,807	15,744
権利金収入	71,296	—
業務受託料	3,393	2,250
助成金収入	7,364	12,502
その他	10,228	18,645
営業外収益合計	111,883	49,662
営業外費用		
支払利息	70,527	64,080
売買有価証券運用損	8,715	10,161
その他	17,755	18,136
営業外費用合計	96,998	92,377
経常利益	1,053,217	778,260
特別利益		
固定資産売却益	49	—
投資有価証券売却益	173,466	341,766
特別利益合計	173,515	341,766
特別損失		
固定資産売却損	—	11,180
固定資産除却損	19,419	1,360
投資有価証券売却損	828	3,993
投資有価証券評価損	6,716	—
関係会社株式売却損	—	24,319
特別損失合計	26,964	40,853
税金等調整前四半期純利益	1,199,769	1,079,174
法人税、住民税及び事業税	577,386	511,026
法人税等調整額	△75,085	△61,424
法人税等合計	502,301	449,601
四半期純利益	697,467	629,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	697,467	629,572

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	697,467	629,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,072	△175,817
退職給付に係る調整額	24,585	696
その他の包括利益合計	133,658	△175,120
四半期包括利益	831,125	454,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831,125	454,451

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,181,250	3,212,219	1,070,034	87,316	21,550,820	—	21,550,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,524	415,904	27,758	446,187	△446,187	—
計	17,181,250	3,214,743	1,485,939	115,074	21,997,007	△446,187	21,550,820
セグメント利益	1,321,013	142,318	56,557	42,968	1,562,858	△524,525	1,038,332

(注) 1 セグメント利益の調整額△524,525千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用565,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,694,068	3,699,979	1,641,710	92,301	22,128,059	—	22,128,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	495,758	27,000	523,032	△523,032	—
計	16,694,068	3,700,254	2,137,468	119,301	22,651,092	△523,032	22,128,059
セグメント利益	1,123,210	142,913	52,095	45,853	1,364,073	△543,097	820,975

(注) 1 セグメント利益の調整額△543,097千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用588,186千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。